

2. 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームあもり
作成日 令和 8年5月29日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	55	リスクを考えすぎて、個々の力を活かした活動等があまりできていない。	会議の中等で、職員間で周知をし個々の力を活かせる取り組みを探す。	個々の力を活かした取り組みをしつつ、安全な環境作りも並行して行う。	1年～
2	36	ケアの中で、入居者様のプライバシーを守れていなさそうな状況が時折ある。	入浴時、排泄時の確認の際、適切なボリュームでの声掛けを意識する。	業務に追われるのではなく、心の余裕を持ち、入居者様の人格とプライバシーを守る為の意識付けを会議や研修で行っていく。	1年～
3	23	職員不足で、思いや意向に沿うことができないこともある。	職員主体ではなく、利用者主体で業務に取り組めるようになる。	人員確保を行い、職員の定着率を上げ、意識の統一を図る。	1年～
4	13	職員不足で外部研修へ参加するのが難しい状況である。	認知症関連だけでなく、その他の研修も受講できるよう取り組む。	人員確保を行い、外部に参加が難しければ、法人に講師を招待することも検討する。	1年～
5	33	外部評価の際、重度化した場合の取り組みの記載が指針になかった。	指針の作成を行う。	指針の作成を行う。	～1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。